

～ 日本海難防止協会シンガポール連絡事務所発SRO news ～
(Ref No : 20-005)

1 パラオを3月に親善訪問した台湾海軍艦艇の乗組員がCOVID-19に感染した
ことについて、パラオのロバーツ保健大臣は「訪問から1か月が経過している」
と述べ、レメンゲサウ大統領は「パラオの病院では関連する症状の患者は報告
されていない」とし、「台湾がパラオで感染した可能性を示唆したのは「不幸」
」と述べた。台湾の在パラオ大使は「艦隊の乗組員に濃厚接触した台湾の
スタッフ、駐在員等が、パラオに引き続き感染者がいないことを証明するた
めのCOVID-19テストを受けた」と述べた。

[原文](#)

(22nd April 2020, Radio NZ)

2 台湾の中央感染症指揮センター（Central Epidemic Command Center
（CECC））によると、外交関係にあるパラオへの親善訪問から帰国した海軍艦
船「磐石（Panshi）」乗組員24人のCOVID-19感染が確認された。また、他に
も乗組員3人が検査は陰性だったものの抗体を有していたことから、最初に罹
患した可能性が考えられている。親善訪問団は小隊3隻744人で構成され、3月
月上旬に台湾を出港し、3月12日から15日までパラオを訪問して、4月9日に台
湾高雄市の海軍基地に帰港した。パラオではCOVID-19の感染例がない一方、同
艦艇も1か月の航海で寄港地はパラオのみであり、当初台湾の「保健大臣」は
パラオ訪問時の感染の疑いに言及したが、翌日に撤回し、感染源について引き
続き調査実施中とのこと。

[原文](#)

(20th April 2020, Focus Taiwan)

3 バヌアツに救援物資を輸送していたオーストラリア空軍の航空機が、医療
機器を積んだ中国の航空機が滑走路に駐機していたため、引き返した。ポー
ト・ビラ空港の最高責任者は「滑走路が2,000m使用可能であったため着陸許可
を出したが、航空機は旋回していた」と述べたが、オーストラリア国防軍のス
ポークスマンは「中国の航空機の荷下ろしが遅れ、空軍機の安全な着陸を妨げ
ていた」と述べた。オーストラリア空軍機は翌日400万豪ドル（260万USドル）
の救援パッケージの一部として仮設避難所建設キット、毛布、ソーラーランタ
ンなどの救援物資を輸送した。伝統的に太平洋島嶼国への最大の支援国である
オーストラリアは、中国の援助と財政支援地域へのリスクが影を落とすことを
懸念して、地域との関与を強化しようとしている。バヌアツのサルワイ首相代
理は「中国から到着したCOVID-19用の簡易検査キットが病院で緊急に必要だっ
た。」と述べた。

[原文](#)

(14th April 2020, Reuters)

4 サイクロン・ハロルドに襲われたバヌアツやフィジーに、ニュージーランド空軍の航空機が、防水シート等の仮設避難所建設資器材を含む救援物資を輸送。また、バヌアツとフィジーからニュージーランドへ帰国を希望する人々も、このフライトによって帰国の機会が得られた。

[原文](#)

(19th April 2020, Radio NZ)

5 4月21日1200までに、パプアニューギニア（PNG）では、COVID-19の感染症例数が1週間前の2件から7件に急増した。また、フィジーで2件増の18件、グアムで3件増の136件（5名死亡）、北マリアナ諸島で8件増の14件（2名死亡）のほか、前週と変わらず、フランス領ポリネシアで55件、ニューカレドニアで18件の感染症例数が報告されている。PNGでは緊急事態宣言発令以降は国内旅行が禁止されていたにもかかわらず、西部州、東ニューブリテン州及び首都区の3地区で感染が報告されている。さらに、西部州で報告された3件は頻繁な越境者と判明しており、感染者が多いインドネシアから、封鎖した国境を越えてくる人々への懸念が大きくなっている。コミュニティ感染発生の懸念から広範囲に検査する必要があるが、PNG国立医療研究所（PNG Institute of Medical Research）が閉鎖されたことから、検査のため検体をオーストラリアに送付する必要があり、対応を複雑にしている。（※各国別の最新の詳細は[リンク](#)参照）

[原文](#)

(22nd April 2020, Policy Forum)

6 The Pacific Humanitarian Pathway on COVID-19（PHP-C）を通じた初めての医薬品として、COVID-19対策に使用される顔用マスク5万枚と防護マスク2万枚がフィジーのナンディに到着した。これらは上海のJack Ma Foundationから寄贈されたもので、フィジー、パプアニューギニア、ニューカレドニア、フランス領ポリネシアに配られる他、一部は太平洋諸島フォーラム加盟国用のバッファとなる。PHP-Cは太平洋諸島フォーラムにより、必要な医療及び人道支援要員・機器を同フォーラム加盟国に効率的に届けるために設立された。（※SRO News 20-003 参照）

[原文](#)

(21st April 2020, Pacific island Forum Secretariat)

7 ナウルは他の9か国（オーストラリア、ブルネイ、カナダ、チリ、ラオス、ミャンマー、ニュージーランド、シンガポール、ウルグアイ）と共同声明を発表し、世界的なCOVID-19パンデミックの下でも、生活必需品等の流通を円滑にするため、航空及び海上貨物を含む貿易ラインを確実にオープンにし、各国とのサプライチェーンを維持することを表明した。また、輸出管理又は関税・非

関税障壁の賦課を控えるとともに、特に医薬品等の必需品に対する既存の貿易制限措置を取り除く重要性を確認した。

[原文](#)

(23rd April 2020, Radio NZ)

8 外航船の船員交代が問題となる中、中国の国家移民管理局（National Immigration Administration）は記者会見で、外航船の船員は原則として上陸が許可されないと述べた。中国の船員で14日以上航海していた者のみ上陸が許可され、14日未満の船員は観察のため隔離される。

[原文](#)

(21st April 2020, Seatrade Maritime)